

「でんきで創る 夢・未来」

宮城教育大学附属中学校
2年2組 勝山 康

皆さん 「くろご」って知っていますか？

「くろご」は黒子と書きます。江戸時代の歌舞伎や人形浄瑠璃に登場する黒装束の人で、あれは観客には見えない約束になっているのです。以前人形浄瑠璃を紹介する番組を見ていると、人形は本当の人間のように生き生きと動いていました。

へそ曲がりな私は「人間みたく動くように作られているじゃないの」と疑ったのですが、それは大間違い。素人が動かしたら本当にただの人形でした。陰に隠れた黒子の技術が、人形を人間らしく生き生きと動かしていたのです。

社会の中で、電気は黒子の役割を果たしています。いつも何気なく利用している家電製品・交通・情報端末、すべては電気で成り立っています。

そして電気の技術によって人間の社会は大きく変わりました。祖父母の頃テレビ・洗濯機・冷蔵庫は「三種の神器」と言われ、今ではパソコン・太陽光発電・電気自動車も実現しました。しかしこれらの変化は、新しい技術によって一つの製品が登場するという「点」の変化に過ぎませんでした。

しかし電気は、遠くない未来に社会全体を変えようとしています。それが「スマートグリッド」です。これは電気とIT技術を用いて、まるで血管や神経のように社会全体をつなげてしまおうという画期的なシステムです。

今までの電気は、発電所で作った電気を家庭で消費するという一方通行でした。しかし、スマートグリッドでは双方向に電気を流すことが可能です。そして発電所と家々にある家電や太陽光パネルなどが常に情報をやりとりして、電気の不足している地域に無駄なく効率的に電気を供給することが出来ます。

アーク灯が銀座の街並みを照らしてからわずか130年。人間の長い歴史から見たら電気の歴史はまだ始まったばかりです。

情報通信技術を活用することで、人間がもっと人間らしく生活できる未来を実現させたい。黒子の見つめる未来は、いつも無限の可能性で彩られています。